

株主のみなさまへ

2009.4.1~2009.9.30

第 111 期 中間報告書

NTN 株式会社  
証券コード | 6472



# 新中期経営計画「NTN次への2010」

## For New Technology Network (新しい技術で世界を結ぶ)に基づく 「技術主導」の原点に立って企業体質強化

長期ビジョンの実現に向け、新たな成長への原動力を強化

長期  
ビジョン  
(2013年度)

- 「規模に依存しない経営」の実現
- 販売業種構成の改善
- 「エコ・新エネ・新市場」で新たなビジネスモデルの開拓

### 当社の企業理念

#### 新しい技術の創造と新商品の開発を通じて 国際社会に貢献する

(For New Technology Network : 新しい技術で世界を結ぶ)

- ◎ 独創的技術の創造
- ◎ 客先及び最終消費者に適合した付加価値技術及びサービスの提供
- ◎ 着実な業績の伸長の下での社員の生活向上、株主への利益還元、社会への貢献
- ◎ グローバリゼーションの推進と国際企業にふさわしい経営・企業形態の形成

### CONTENTS

トップインタビュー	2	地球環境との共生	10
公募増資について	5	連結財務諸表	11
研究開発について	6	会社情報	13
事業部門別概況	7	株式情報	14
地域別売上高の概況	9		

#### <見直しに関する注意事項>

本報告書には、NTNの将来についての計画・戦略・業績に関する予測と見通しが含まれています。実際の業績は本報告書で述べられている見通しと異なる可能性があることをご承知おください。

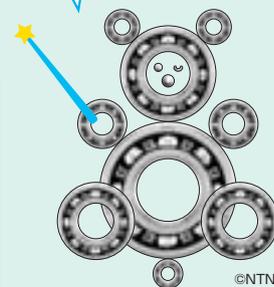
### 大観覧車にも、NTNのベアリング。



大観覧車の回転軸に、当社の超大形軸受が組み込まれています。巨大な回転輪、ゴンドラ、乗客あわせて約500トンもの荷重を支えているのは当社の超大形自動調心ころ軸受です。

観覧車は多くの人を高所に運び上げる乗り物だけに安全性が最優先されます。大きな重量を支えられる設計とし、製造にあたって材料を吟味し、品質管理を徹底しています。

こうした取組みが評価され、当社の超大形軸受は、国内の大観覧車に多数採用されています。



NTNのマスコット  
ベアリング・ベア (愛称: ベアベア)

# 「規模に依存しない経営の実現」を目指し、 産業機械向け拡販や原価低減などの諸施策を推進



代表取締役会長 鈴木 泰信 代表取締役社長 森 博嗣

Q

当第2四半期の経営成績について  
お聞かせください。

A

当第2四半期連結累計期間（2009年4月1日～2009年9月30日）における日本経済は、在庫調整の一巡や経済対策の効果などにより持ち直しの動きが見られましたが、雇用情勢の悪化や設備投資の減少が継続するなど依然厳しい状況にありました。海外経済につきましては、アジアでは中国を中心に回復しつつありますが、米州・欧州では一部で政策効果などによる下げ止まりが見られるものの、引き続き深刻な状況にあります。

このような環境のもと、当社グループは本年4月にスタートした2年間の新中期経営計画「**NTN次への2010**」の目標である「規模に依存しない経営の実現」を目指し、産業機械向け拡販や原価低減などの諸施策を推進しております。

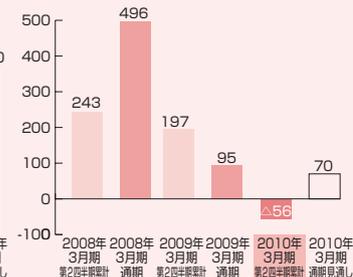
当第2四半期連結累計期間の売上高は、206,660百万円（前年同期比35.5%減）となりました。損益につきましては、原価低減を進めましたが、販売減や為替の影響などにより、営業損失は5,618百万円、経常損失は7,609百万円、四半期純損失は5,084百万円となりました。

## 決算ハイライト

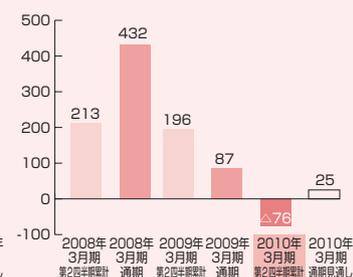
### ● 売上高(億円)



### ● 営業利益又は営業損失(△)(億円)



### ● 経常利益又は経常損失(△)(億円)



### ● 四半期(当期)純利益又は 四半期(当期)純損失(△)(億円)



Q 新中期経営計画「NTN次への2010」と今後の課題についてお聞かせください。

A 当社グループは、本年4月から2年間にわたる新中期経営計画「NTN次への2010」を策定し、規模に依存しない筋肉質の経営を目指し推進中です。2009年9月期の経済環境は、在庫調整の一巡や経済対策の効果などにより持ち直しの動きは見られましたが、雇用情勢の悪化や設備投資の減少が継続するなど依然厳しい状況にありました。そのような状況の中、当社の企業理念「For New Technology Network」に基づく「技術主導」の原点に立った諸施策を展開中です。

研究開発関連の施策

研究開発関連の施策につきましては、高付加価値商品の開発を加速させます。産業機械向けでは、風力発電、鉄道車両等の地球環境保全に貢献する分野と、最先端の航空機や医療機器向け等の成長業種で独自商品の開発を強化します。本年6月には、要素技術研究開発センター(三重県)が竣工し、要素技術の深耕と、大形軸受等の産業機械向け商品の研究開発機能の強化を図ります。自動車向けでは、軸受及び等速ジョイントの更なる小型・軽量化、低トルク化と電気自動車向けモジュール商品開発(インテリジェント・インホイール等)を強化して、自動車産業の課題である低燃費、CO<sub>2</sub>排出量の削減に貢献してまいります。また、これまで研究開発拠点のなかっ

た中国・上海に技術センターを新設し、現地メーカーや大学などとも連携することで、市場ニーズに合った商品をスピーディーに開発してまいります。

営業関連の施策

営業関連の施策につきましては、産業機械や補修・代理店向けの販売を拡大します。産業機械向けでは、地球環境や資源エネルギーを背景とした風力発電・鉄道車両・航空機等の成長分野に注力し、技術優位性の確立と組織体制の強化を推進してまいります。風力発電では日本国内だけでなく海外、特に新興国向けの事業を強化いたします。鉄道車両や航空機向けでは、SNR社との協業によりグローバルに事業を拡大してまいります。補修・代理店向けでは、新興国やパーツ市場のサービス強化により拡販を図ります。一方、自動車向けでは収益重視の営業展開により、更に収益性を向上させてまいります。

生産関連の施策

生産関連の施策につきましては、サプライチェーンの見直し、リードタイム短縮等による棚卸資産削減を進めます。NTNの「もの造り」の基本である生産管理の改革と、生産工程や生産設備等の高度化により、品質の更なる向上と小ロット需要への対応力強化に努めてまいります。また、超大形軸受の需要増に対応するため、本年10月から株式会社NTN宝達志水製作所(石川県)を稼働しました。グローバルでは、SNR社ルーマニア工場と本年10月より等速ジョイントの量産を開始し、2011年末からはSNR社ブラジル工場、世界戦略車向けハブベアリングの

TOPICS 1

株式会社NTN宝達志水製作所が竣工

本年10月、石川県羽咋郡に株式会社NTN宝達志水製作所が完成し、NTNグループの中でも一番大きなサイズの超大形軸受について、旋削・熱処理・研磨・組立までのすべての工程を行い、地球環境保護に貢献する風力発電機向けを中心とした高精度・高品質の超大形軸受を、この地区で一貫生産をいたします。



量産を開始する予定です。今後もグローバル経済環境の変化に対応した生産体制の再編成を進めてまいります。

### 収益体質の強化施策

収益体質の強化施策につきましては、固定費削減に加え、資産効率を抜本的に改善します。設備稼働率を向上させ設備投資を最少化するとともに、更なる人作業効率化の追求により生産性向上を図り、人件費効率を高めてまいります。

本年9月、産業機械・補修向けの販売構成の拡大を図り、成長戦略の布石を打つために、新株式発行による資金調達を実施しました。今回の公募増資によって、中長期ビジョンの実現に欠かせない風力発電用、鉄道車両用といった成長分野等への必要資金を確保し、持続的な成長の実現を目指すとともに、資本増強によって財務体質の一層の強化を図り、不透明な金融環境に左右されない強固な財務基盤の確立が可能になると考えております。

企業の社会的責任(CSR)の観点から、グループ全体の内部統制システムやコンプライアンス(企業倫理)の維持更新、リスクマネジメントではハザードリスク、感染症の蔓延リスク等への対応、女性従業員の活躍支援では企業内託児所建設等、着実に取り組んでいます。環境的側面では、人・環境にやさしい商品(環境対応型商品)の開発、環境規制物質撤廃、新たに設立した工場での風力発電や太陽光発電等の自然エネルギーの積極的な活用、省エネ機器・省エネ加工設備の導入により、CO<sub>2</sub>削減と環境負荷低減の活動を継続的に推進しております。本年3月には、岡山製作所に世界で初めて蓄熱式の工場空調シ

ステムを採用しました。

以上の諸施策を実施することにより経営基盤の一層の強化と業務の効率化に努め、収益向上に邁進する所存でございます。

株主の皆様には今後ともご支援とご鞭撻を賜りますようよろしくお願いたします。

## 「NTN次への2010」の重点課題

新商品開発のスピードアップ

産業機械・補修向け拡販

もの造り・品質世界一

筋肉質のコスト体質

人材活用と育成

## 通期の業績見通し

(億円)

	当期(見通し)2010年3月期	前期(実績)2009年3月期
売上高	4,720	5,271
営業利益	70	95
営業利益率	1.5%	1.8%
経常利益	25	87
当期純利益又は 当期純損失(△)	5	△90

## TOPICS 2

### SNR社のルーマニア工場とブラジル工場の活用によるシナジー加速

今後成長が見込まれる新興国の自動車市場に対し、NTNが強い日系自動車メーカー向け、SNR社が強い欧州自動車メーカー向けビジネスのシナジー効果を最大限に発揮するとともに、既存のSNR社製造拠点を活用し、東欧・中南米での自動車向けビジネスを強化します。

本年10月からルーマニア工場等で等速ジョイントの量産を、2011年末からはブラジル工場で第3世代ハブベアリングの量産を開始する予定です。



▲SNR社 ブラジル工場

## 公募増資の概要

2009年8月28日開催の当社取締役会において、新株式発行並びに当社株式の売出しによる資金調達を決議し、実施いたしました。これらにより調達させていただきました資金は、中長期ビジョンの実現に欠かせない風力発電用、鉄道車両用といった成長分野等への必要資金として、また財務体質の一層の強化のために活用し、不透明な金融環境に左右されない強固な財務基盤を確立いたします。

対象株式	NTN株式会社(東証1・大証1/6472) 普通株式	
新規発行株式数	62,000,000株/約238億円*	
一般募集	54,000,000株/約208億円*	
第三者割当増資分	8,000,000株/約 30億円*	
手取金の使途	<b>S.N.R. ROULEMENTS社株式の追加取得資金 関係会社への投融資</b> 当該投融資資金については、株式会社NTN三重製作所・株式会社NTN宝達志水製作所に充当。当該関係会社はいずれもその資金を設備投資資金に充当 <b>当社における設備投資</b> 当社における設備投資資金として主に風力発電用、鉄道車両用など産業機械向け軸受の研究用設備並びに生産設備に充当。 桑名製作所及び磐田製作所等における生産設備投資資金に充当	
申込株数単位	1,000株	
発行済株式総数	(増資前) 470,463,527株	➡ (増資後・第三者割当含む) 532,463,527株

\*金額：手取金ベース

## 調達資金の活用

### 成長基盤を構築し 株主価値の拡大へ

- 将来の欧州地域の橋頭堡となるS.N.R. ROULEMENTS社への追加出資
- 需要拡大に対応した生産機能の増強及び新規設立の設備投資資金
- 次世代の環境事業への研究用設備・生産用設備への投資資金

※S.N.R. ROULEMENTS社は、当社の欧州におけるベアリング（軸受）事業拡大に向け、ルノー社の100%子会社に資本参加した関係会社です。

### 増資による手取金の使途

#### 欧州事業の拡大 ～SNR社とのシナジー～

S.N.R. ROULEMENTS社株式の追加取得資金に充当。当初の出資比率は35%、2008年4月7日に出資比率を51%まで引き上げ連結子会社化し、今般発行済株式の29%を追加取得し、出資比率を80%まで引き上げる予定

60 億円

NTN/SNR共同開発  
高分解能回転  
センサ付ハブベアリング



#### 株式会社NTN三重製作所への投融資

大形軸受をはじめとする産業機械向け軸受の需要増に対応するための拡張・増産

30 億円



株式会社NTN三重製作所

#### 株式会社NTN宝達志水製作所への投融資

超大型軸受の需要拡大に対応するため、本年10月から株式会社NTN宝達志水製作所（石川県）を稼働

60 億円



株式会社NTN宝達志水製作所

#### 研究用設備投資資金

要素技術の深耕と大形軸受等の産業機械向け商品の研究開発機能の強化

30 億円



要素技術研究開発センター

#### 需要増の対応のための生産能力の増強

桑名製作所及び磐田製作所等における生産設備投資資金に充当

約58 億円



磐田製作所

合計

約238 億円

## 01

### 「技術と知の連携」

#### ～グローバルな連携・ネットワークを強化～

NTNと、2008年から当社グループに加わったフランスNo.1の軸受メーカーであるSNR社では、両社の技術力・生産力・市場開拓力を融合させ、「高分解能回転センサ付ハブベアリング」を共同開発するなど、すでに市場展開してシナジー効果を生んでいます。

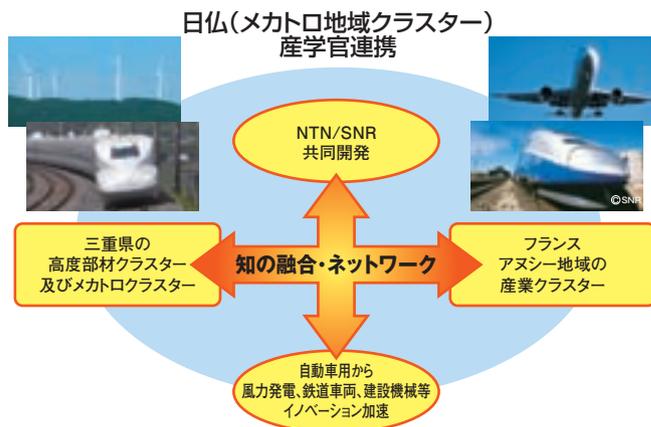
このような優れた技術をより高め、どのように市場展開をしていくのか、これまでの自動車向け製品だけでなく、風力発電、鉄道車両、建設機械などの産業機械向けにスピーディーに開発するにはどうするのが効率的か。

その答えの一つとして産学官連携や地域の産業クラスターでの連携を強化しています。

日本ではNTN発祥の地、三重県桑名市と四日市市を中心とした「高度部材クラスター」、津市を中心とした「メカトロクラスター」、フランスではSNR社本社があるアヌシー地域は「メカ

ロニクスや素材加工のクラスター」の中心地です。

これまでのNTN-SNR連携を更に産業クラスターの日仏連携ネットワークに広げ、自らのコア技術を深掘りするとともにオープンイノベーションを加速していくことが重要です。



## 02

### 電気自動車の本格的普及に先駆けた技術開発

#### ～インホイールモータをはじめとする電気自動車への取組み～

NTNでは当社のコア技術であるメカトロ技術(モータ・制御)とトライボロジー技術(摩擦・潤滑)を活用し、電気自動車や現行車両の電動化に向けたモジュール商品の開発をしています。

その一つが、「インホイール型モータ内蔵アクスルユニット」に「電動ブレーキユニット」と「荷重センサ」を組み合わせた「インテリジェント・インホイール」。

「インテリジェント・インホイール」は電気自動車の駆動方式の一つで、ホイールの内側に収めたモータで駆動します。エンジンやトランスミッションなどを必要としないため、室内空間を確保しやすいなど、スペースユーティリティに優れ、更にディファレンシャルギアやドライブシャフトを介さないことでエネルギー効率も向上します。

「インテリジェント・インホイール」はインホイールモータ・電動ブレーキ・荷重センサからの情報により回生制御や車両安定制御が可能となり、燃費と運転時の安全性が向上します。また、X-by-Wire\*と組み合わせた電気自動車では、車両の設計やデザインが飛躍的に向上するとともに、高度な駆動制御により横方向への移動やその場での旋回が可能になるなど、これまでの自動車の概念を大きく変え得るものとなります。

\*X-by-Wire: 油圧や機械を使って行っている操舵や制御の機能を、電気的なアクチュエータやモータ、電子制御などによって実現する技術



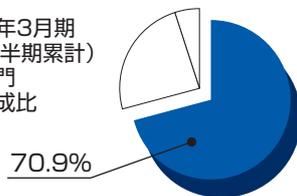
▲電気自動車対応 インテリジェント・インホイール

### 営業概況

## 世界的な需要減少と為替の影響により減収

産業機械向けでは、日本・欧州・中国で鉄道車両向けなどが増加するなど一部で明るさが見られましたが、風力発電向けは弱含みとなり、建設機械・工作機向けが落ち込むなど、世界的な需要減退や為替の影響により各地域ともに減少しました。自動車向けでは中国で主に日系自動車メーカー向けに新規案件の量産開始が寄与したことによりアクスルベアリングやニードルローラベアリングが増加しましたが、その他の地域では、世界的な自動車メーカー向けの需要減退や為替の影響により減少しました。この結果、売上高は146,481百万円（前年同期比35.7%減）となりました。

2010年3月期  
(第2四半期累計)  
軸受部門  
売上構成比



売上高推移(億円)



### 事業解説

軸受はあらゆる機械の回転部分を支え、航空宇宙関連から自動車、産業機械、精密機器など幅広い産業分野で使われています。摩擦を減らすことでエネルギー消費を抑える軸受はそのものが「エコ商品」です。風力発電の利用拡大や環境にやさしい鉄道の発展、医療技術の進歩やレジャー産業の発展など、人々の健康で豊かな生活にも貢献しています。

### 軸受主要製品

- ボールベアリング
- ローラベアリング
- アクスルベアリング
- ベアリングユニット
- 大形ベアリング
- 精密ベアリング
- 流体動圧軸受
- 滑り軸受
- その他の各種ベアリング



▲2009年“超”モノづくり部品大賞奨励賞受賞  
高負荷容量円すいころ軸受

### 営業概況

## 中国が増加するもその

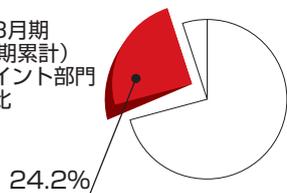
中国では、主に新規案件の量産開始が寄与したことにより増加しましたが、その他の地域では世界的な自動車メーカー向けの需要減退や為替の影響により減少しました。この結果、売上高は50,035百万円（前年同期比35.9%減）となりました。

### 事業解説

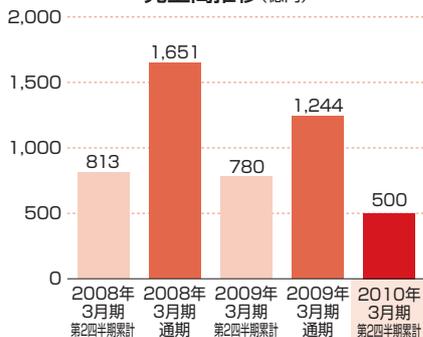
等速ジョイントの更なる小型・軽量化・低トルク化と電気自動車向けモジュール商品の開発を強化して、自動車産業の課題である低燃費、CO<sub>2</sub>排出量の削減に貢献しています。また、更に超軽量化と超効率化を目指した次世代型の等速ジョイントの開発にも注力しています。

## 他の地域で需要が減少

2010年3月期  
(第2四半期累計)  
等速ジョイント部門  
売上構成比



売上高推移(億円)



## 等速ジョイント主要製品

- ◎自動車用等速ジョイント  
ドライブシャフト用  
プロペラシャフト用  
ステアリング用
- ◎産業機械用等速ジョイント



◀ステアリング用等速ジョイント

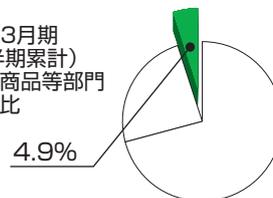
## 精密機器商品等

## 営業概況

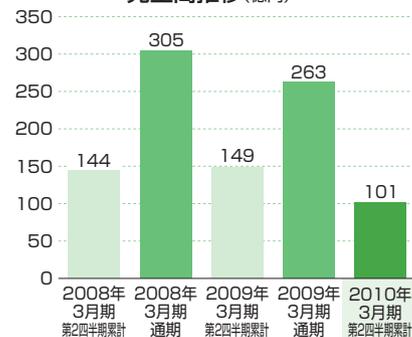
## 客先の設備投資抑制の影響などにより減収

世界的な需要減退による客先の設備投資抑制の影響などにより、売上高は10,142百万円(前年同期比32.0%減)となりました。

2010年3月期  
(第2四半期累計)  
精密機器商品等部門  
売上構成比



売上高推移(億円)



## 事業解説

このセグメントは先端技術商品や特定分野向けの商品が集合しています。次世代を担う産業界のニーズに対応できる高精度・高機能を目指したメカトロ商品では、液晶リペア装置やパーツフィーダ等の開発を進めています。

## 精密機器商品等主要製品

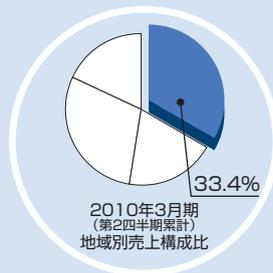
- ◎液晶リペア装置
- ◎PDP欠陥修正装置
- ◎パーツフィーダ
- ◎XYテーブル
- ◎磁気軸受スピンドル
- ◎オートテンショナ
- ◎精密樹脂部品
- ◎機械器具等



▲液晶カラーフィルタマルチリペア装置

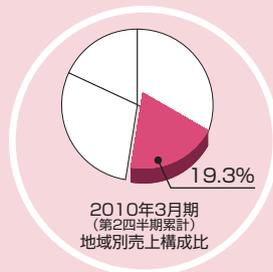
# 地域別売上高の概況

## 日本



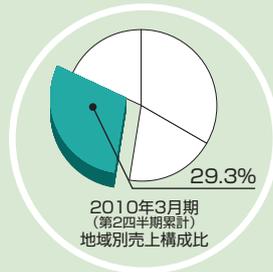
鉄道車両向け軸受などの増加はありましたが、需要減退や輸出向けの減少などにより産業機械向け、自動車向けともに減少しました。この結果、売上高は69,069百万円(前年同期比39.2%減)となりました。

## 米州



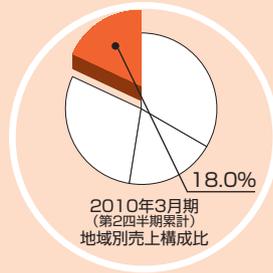
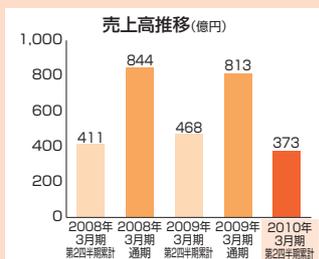
建設機械向け軸受などの需要の落ち込みや自動車メーカーの減産、為替の影響などにより産業機械向け、自動車向けともに減少しました。この結果、売上高は39,895百万円(前年同期比40.6%減)となりました。

## 欧州



鉄道車両向けや航空機向け軸受の増加はありましたが、需要減退や為替の影響により産業機械向け、自動車向けともに減少しました。この結果、売上高は60,416百万円(前年同期比35.0%減)となりました。

## アジア他



中国では、鉄道車両向け軸受や自動車向けのアックスルベアリング、ニードルローラベアリング、等速ジョイントの増加はありましたが、その他アジア地域では、需要減退や為替の影響により産業機械向け、自動車向けともに減少しました。この結果、売上高は37,279百万円(前年同期比20.2%減)となりました。

# 地球環境との共生

## 環境への取組み

### 岡山製作所で工場空調として世界初の先進的省エネ空調システムを導入

NTNでは新しい工場や施設を建設する際、風力や太陽光などの自然エネルギー発電を導入することを社内ガイドラインに定めており、これまでに太陽光発電機10基、風力発電機14基、風力と太陽光を併用したハイブリッド発電機13基を導入してきました。

これに加え、各事業場ではコンプレッサ、空調、照明などのユーティリティ設備の大規模な省エネ改修を推進しており、岡山製作所では経済産業省の助成を受けて、先進的省エネルギー技術である「水と物スラリ蓄熱空調システム」を導入しました。このシステムを工場空調として採用したのは世界初となります。



▲水と物スラリ蓄熱空調システム

また、蓄熱技術の拡大に貢献したとして、(財)ヒートポンプ・蓄熱センター主催の「第12回蓄熱のつどい」で、「蓄熱を拓める」部門で感謝状をいただきました。

このような取組みの成果として、2008年度のCO<sub>2</sub>排出量は生産量減少の影響もありましたが、2007年度実績の35.3万トンから31.1万トンへ大幅に減少しました。

これからも環境保全に取り組む企業として、省エネ設備の導入によりCO<sub>2</sub>削減や地球温暖化対策などに積極的に貢献していきます。



▲(財)ヒートポンプ・蓄熱センターより贈呈された感謝状

### 小型の風力発電機

学校やビルの屋上、また家庭の庭先で自然エネルギーを誰でも利用できる「小型風力発電機」。平均風速5m/sの地域で、一般家庭の消費電力の1/3程度(月間約100kwh)の発電をします。大型風力発電機だけでなく小型風力発電機にもNTNのベアリングは使われており、身近なところでも地球温暖化防止に貢献しています。



▲一般住宅に設置された小型風力発電機

## NTN環境基本方針 (2009年3月改訂)

私たちNTNグループは、地球環境との共生を最重要課題に掲げ、企業活動が環境に及ぼす負荷を継続的に低減するとともに、社会の持続的発展に貢献できるよう、不断の努力を行います。

### 1. 環境にやさしい製品の開発と販売

当社の技術を駆使して環境にやさしい製品の開発を行い、それらを社会へ提供することで、全世界の省エネルギー化に貢献します。

### 2. 環境への負担軽減

あらゆる事業活動において、エネルギー効率の改善、資源の有効利用、環境負荷物質の管理徹底に努め、地球温暖化防止、環境汚染の未然防止を図ります。

### 3. 法令遵守と環境管理体制の充実

法令遵守はもとより、より厳しい自主基準及び社内規程を定め遵守します。また、環境管理の組織や運営方法を整備し、環境マネジメントシステムの維持・改善に努めます。NTNグループで働く全員に環境基本方針の周知と環境保全に関する意識向上を図ります。

### 4. 社会貢献、自然環境保護への取組み

地域の社会貢献活動や自然環境保護活動に積極的に参画することで、近隣社会との交流を図り、地域とともに歩む企業を目指します。

# 連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (2009年9月30日)	前期 (2009年3月31日)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	289,474	278,153
現金及び預金	35,058	28,047
受取手形及び売掛金	83,191	79,942
有価証券	13,500	—
商品及び製品	70,287	76,418
仕掛品	36,397	41,185
原材料及び貯蔵品	19,151	22,863
その他	32,105	29,882
貸倒引当金	△218	△186
固定資産	339,604	349,459
有形固定資産	273,635	288,419
建物及び構築物	69,091	65,674
機械装置及び運搬具	154,785	168,234
その他	49,759	54,510
無形固定資産	3,884	4,181
投資その他の資産	62,084	56,859
投資有価証券	37,338	32,172
繰延税金資産	22,708	22,600
その他	2,212	2,363
貸倒引当金	△175	△276
<b>資産合計</b>	<b>629,078</b>	<b>627,613</b>

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 (2009年9月30日)	前期 (2009年3月31日)
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	287,815	284,346
支払手形及び買掛金	68,507	72,604
短期借入金	146,812	163,320
一年内償還予定の社債	30,000	10,000
未払法人税等	2,779	2,389
その他	39,715	36,032
固定負債	131,959	151,044
社債	10,000	30,000
長期借入金	74,513	72,675
その他	47,444	48,367
<b>負債合計</b>	<b>419,774</b>	<b>435,391</b>
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	219,595	202,547
資本金	54,346	42,339
資本剰余金	67,417	55,410
利益剰余金	98,560	105,524
自己株式	△730	△728
評価・換算差額等	△25,060	△25,572
その他有価証券評価差額金	2,082	△405
為替換算調整勘定	△27,143	△25,166
少数株主持分	14,769	15,247
<b>純資産合計</b>	<b>209,304</b>	<b>192,222</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>629,078</b>	<b>627,613</b>

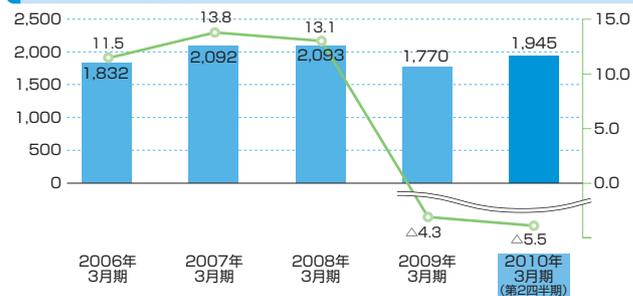
## 総資産(億円)

## ROA(%)



## 自己資本(億円)

## ROE(%)



## 四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期(累計)	前第2四半期(累計)
	〔2009年4月1日から 2009年9月30日まで〕	〔2008年4月1日から 2008年9月30日まで〕
売上高	206,660	320,607
売上原価	180,825	260,448
売上総利益	25,834	60,159
販売費及び一般管理費	31,453	40,448
営業利益又は営業損失(△)	△5,618	19,710
営業外収益	2,164	4,624
営業外費用	4,155	4,766
経常利益又は経常損失(△)	△7,609	19,568
特別利益	722	379
特別損失	-	5,029
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△6,887	14,918
法人税等	△2,737	5,585
少数株主利益	935	797
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	△5,084	8,535

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期(累計)	前第2四半期(累計)
	〔2009年4月1日から 2009年9月30日まで〕	〔2008年4月1日から 2008年9月30日まで〕
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,026	28,737
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,486	△38,405
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,824	9,005
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,714	865
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	24,078	203
現金及び現金同等物の期首残高	30,995	32,536
現金及び現金同等物の四半期末残高	55,074	32,739

### POINT 売上高

前年同期比36%減収

### POINT 営業利益

前年同期比253億円減益

売上規模減少による利益減少が主要因。

### 配当に関する方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を最重要方針の一つと考えております。配当につきましては、業績、配当性向、経営環境等を勘案し、中長期的な視点から安定的に継続することを基本方針としております。

当期につきましては、経営環境の先行きが不透明であることから配当予想を未定とさせていただきます。上記の基本方針を踏まえ総合的に勘案しました結果、中間配当金につきましては1株当たり4円とさせていただきます。なお、期末の配当予想につきましては、依然不透明な経営状況が続くと見込まれるため、引き続き未定とさせていただきます、確定次第速やかに公表いたします。

### POINT 棚卸資産

09年3月末から△146億円削減

### POINT フリー・キャッシュ・フロー

投資抑制や在庫削減により85億円の黒字化

### ◎ 中間配当金

1株当たり  
金4円

### ◇ 配当金の推移 (円)





## ■ 株主数及び株式数 (2009年9月30日現在)

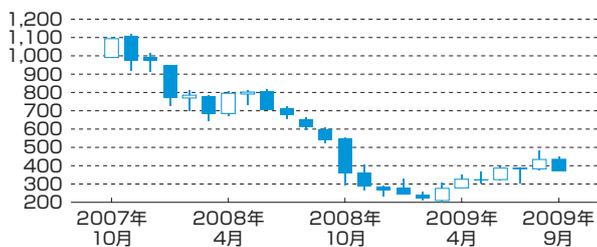
- 株主数 ..... 34,306名
- 発行済株式数 ..... 532,463,527株

## ■ 大株主 (2009年9月30日現在)

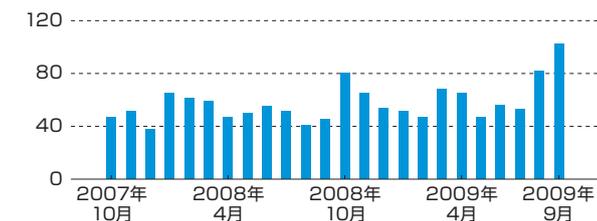
株主名	所有株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	26,996	5.07
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	25,274	4.74
第一生命保険相互会社	23,278	4.37
明治安田生命保険相互会社	22,467	4.21
株式会社三菱東京UFJ銀行	21,674	4.07
三菱UFJ信託銀行株式会社	11,870	2.22
東京海上日動火災保険株式会社	11,653	2.18
日本生命保険相互会社	11,507	2.16
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	10,594	1.98
NTN共栄会	9,058	1.70

## ■ 株価の推移

### ● 株価(円)

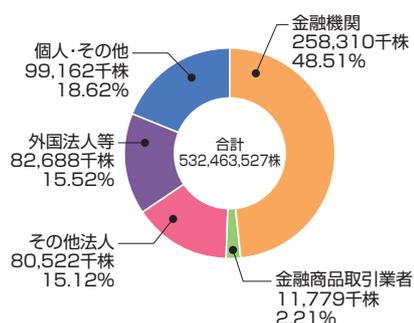


### ● 出来高(百万株)

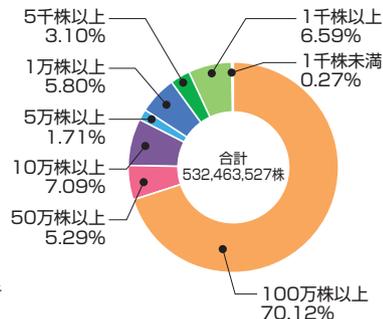


## ■ 株式分布状況 (2009年9月30日現在)

### ● 所有者別



### ● 所有株数別



## ◎ 株主メモ ◎

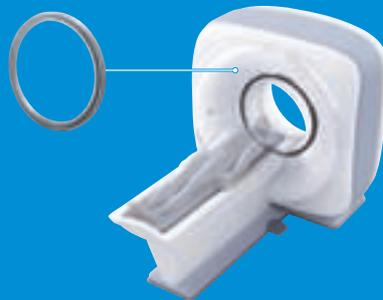
- 事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
- 定時株主総会 事業年度終了後3か月内
- 基準日 毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主をもって、その事業年度に関する定時株主総会において権利を行使することができる株主とします。その他必要あるときは、あらかじめ公告して、基準日を定めます。
- 剰余金の配当 3月31日  
受領株主確定日
- 中間配当 9月30日  
受領株主確定日
- 公告方法 電子公告  
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。公告掲載の場合のホームページアドレス  
《<http://www.ntn.co.jp>》
- 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 〒100-8212  
東京都千代田区丸の内1丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 〒541-8502  
大阪市中央区伏見町3丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
電話(通話料無料) 0120-094-777
- ご注意
  - 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
  - 特別口座に記載された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
  - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

# Essential Elements for Performance



車軸用軸受  
外径: 220mm

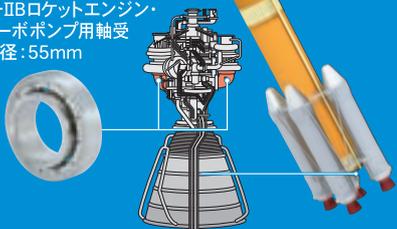
高速CTスキャナ用軸受  
外径: 1000mm



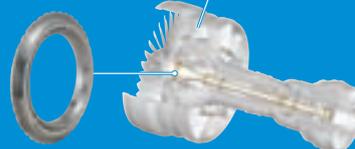
「2008年“超”モノづくり部品大賞 自動車部品賞受賞」  
ステアリング用等速ジョイント



H-IIBロケットエンジン・  
ターボポンプ用軸受  
外径: 55mm



3点接触玉軸受  
外径: 527mm



主軸用超大形軸受  
外径: 1580mm



車軸用大形軸受  
外径: 810mm



NTNブルー = テクノロジーブルー

# NTN®

ベアリングのことなら

様々な分野で活躍する、  
NTNのベアリングテクノロジー。